

目次

はじめに	ii
目次	iv
凡例	viii

第1章 自然科学系の情報探索

1.1 研究活動の流れと情報探索	2
1.2 自然科学系情報源の種類と特徴	5
1.2.1 雑誌論文	5
1.2.2 図書	9
1.2.3 その他の情報	9
1.3 文献の入手	12

第2章 電子ジャーナル

2.1 電子ジャーナルとは	16
2.2 本学での使い方	19
2.2.1 ホームページ「電子ジャーナル」からのアクセス	19
2.2.2 『Online Catalog』からのアクセス	24
2.3 関連サービス	26
2.3.1 コンテンツアラートサービス	26
2.3.2 SDIサービス	29
2.3.3 文献検索	30

第3章 データベース

3.1 データベースを活用しよう	34
3.1.1 データベースの変遷と電子ジャーナルとの使い分け	34
3.1.2 データベースの種類	36
3.1.3 利用上手になるために	41
3.2 Web of Science	50
3.2.1 Web of Science とは	50
3.2.2 検索のスタート	51
3.2.3 文献検索	52
3.2.4 文献同士の関係性	58
3.2.5 引用文献情報の検索	60

3.2.6	その他の機能	65
3.2.7	全体図	72
演習問題		73
3.3	SciFinder Scholar	74
3.3.1	SciFinder Scholar とは	74
3.3.2	文献検索	78
3.3.3	物質検索	85
3.3.4	検索結果の活用	95
3.3.5	検索の全体図	99
3.3.6	CA セクション	100
演習問題		102
3.4	MEDLINE	104
3.4.1	MEDLINE とは	104
3.4.2	基本的な検索	105
3.4.3	シソーラスの活用	115
3.4.4	SDI 機能	118
演習問題		120
3.5	医中誌 WEB	122
3.5.1	医中誌 WEB とは	122
3.5.2	基本的な検索	123
演習問題		129
3.6	Biological Abstracts	130
3.6.1	Biological Abstracts とは	130
3.6.2	基本的な検索の流れ	131
3.6.3	統制語を利用した検索	134
3.7	CrossFire (Beilstein / Gmelin)	136
3.7.1	CrossFire (Beilstein / Gmelin) とは	136
3.7.2	検索のスタート	137
3.7.3	化合物情報の検索	138
3.7.4	反応情報と文献情報の検索	142
3.7.5	物性情報からの検索	145
3.7.6	その他の機能	147
3.7.7	全体図	148
3.7.8	『CrossFire』と『SciFinder Scholar』	149
演習問題		150

3.8	その他のデータベース	151
3.8.1	MathSciNet	151
3.8.2	Zentralblatt MATH	152
3.8.3	Current Contents	153
3.8.4	INIS database	153
3.8.5	inside web	154
3.8.6	Ei Compendex Site Enhanced	154
3.8.7	INSPEC	155

第4章 専門資料

4.1	専門資料の種類	158
4.2	学位論文	159
4.2.1	特徴と入手までの基本的な手順	159
4.2.2	日本の学位論文の検索	160
4.2.3	外国の学位論文の検索	162
4.2.4	入手の方法	165
4.3	テクニカル・レポート	166
4.3.1	特徴と入手までの基本的な手順	166
4.3.2	日本のテクニカル・レポートの検索	168
4.3.3	アメリカのテクニカル・レポートの検索	170
4.3.4	その他のテクニカル・レポート	173
4.3.5	入手の方法	174
4.4	会議録	176
4.4.1	特徴と入手までの基本的な手順	176
4.4.2	日本の会議録の検索	178
4.4.3	国際会議録の検索	180
4.4.4	入手の方法	182
4.5	特許	184
4.5.1	特徴と入手までの基本的な手順	184
4.5.2	日本の特許の検索	186
4.5.3	外国の特許の検索	190
4.5.4	入手の方法	193
4.6	規格	194
4.6.1	特徴と入手までの基本的な手順	194
4.6.2	日本の規格の検索	196
4.6.3	外国の規格の検索	198
4.6.4	入手の方法	201

4.7	その他の専門資料	202
-----	----------	-----

付録

1.	相互利用サービス	206
2.	文献管理ソフト	209
3.	インパクトファクターとはなにか	212
4.	その他の情報機関	214
5.	論文の書き方に関する参考図書一覧	216
6.	略語集	218
7.	キャンパスマップ	222
8.	利用案内	223
9.	演習問題の解答・解説	225

索引	234
----	-----

あとがき

凡例

本文中に箇条書きしている図書、雑誌、CD-ROM、オンラインデータベースなどのツールについて、記載書式はおおむね次のとおりとした。

- 『書名・誌名など』(叢書名) 巻号・版・内容収録年など 著編者 出版者 出版年 : 学内配置場所 [請求記号]
- 『ウェブサイト名など』 提供機関名 (URL) 備考

注 1) 年表示について、最新巻を継続して購入している資料は、終年を省略して記した。(例：1999～) また、資料の特徴として、最新内容が重要だと考えられる資料については所蔵年すべてを記さず、最新巻のみを記した。

注 2) 学内配置場所は、附属図書館内の場所を省略形によって記した。省略形に対応する配置場所はそれぞれ以下のとおりである。

省略形	配置場所
本館RC	本館レファレンスコーナー
本館学閲	本館学生閲覧室参考図書コーナー
本館書庫	本館書庫
医分	医学分館参考図書コーナー
北分	北青葉山分館参考図書コーナー
工分	工学分館参考図書コーナー
農分	農学分館参考図書コーナー
金研	金属材料研究所図書室
通研	電気通信研究所図書室
多元	多元物質科学研究所図書室

注3) 本文中で「コラム参照」とある場合は、その直後のコラムを参照する。レイアウトの都合上、次ページ以降に該当コラムがある場合がある。

本書は 2004 年 12 月現在の状況をもとに記した。最新のツールや情報探索環境については、東北大学附属図書館ホームページを参照のこと。

URL: <http://www.library.tohoku.ac.jp/>